

令和3年度分科会報告（概要）

令和4年2月9日

関東地方環境事務所

暑熱対策分科会

暑熱対策分科会 ① 事業概要

テーマ：夏期の気温上昇による熱中症対策

関東地域では、特に内陸を中心として夏期に高温となる地域が多い。これに伴い熱中症による搬送者・死者数も増加しており、各自治体で熱中症対策への取組が進められている。より効果的かつ広域的な取組を促す広域アクションプランの策定を目指す。

<アドバイザー> ※敬称略

国立環境研究所 客員研究員 小野 雅司
(環境保健学、環境疫学)

<オブザーバー>

なし

<メンバー>

(2021/6/9現在)

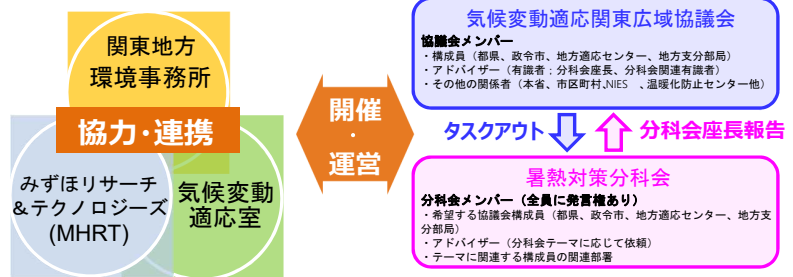
種別	メンバー
地方公共団体	茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、山梨県、静岡県、さいたま市、千葉市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市
地域気候変動適応センター	茨城大学、埼玉県環境科学国際センター、千葉県環境研究センター、神奈川県環境科学センター、静岡県環境衛生科学研究所、川崎市環境総合研究所
地方支分部局	農林水産省 関東農政局、農林水産省 北陸農政局、国土交通省 関東地方整備局、気象庁 東京管区気象台、環境省 関東地方環境事務所 (事務局)
企業 ほか	-

<実施体制>

暑熱対策分科会の推進体制は右のとおり。

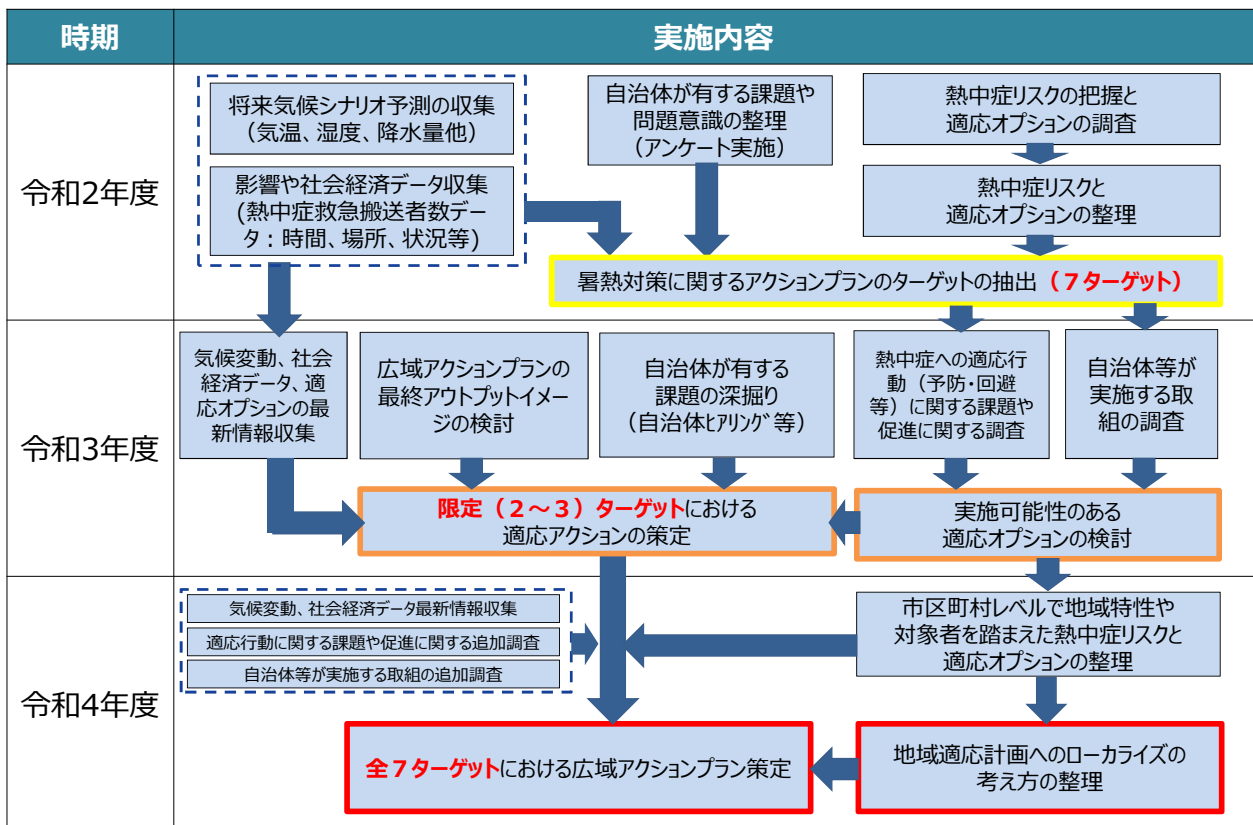
気候変動適応室・関東地方環境事務所と緊密に連携し協力を図り、広域協議会および暑熱対策分科会を開催・運営する。

(現時点では、調査の協力機関の想定はない。)



気候変動適応関東広域協議会 (第7回)

暑熱対策分科会 ② 実施計画 (令和2-4年度)



気候変動適応関東広域協議会 (第7回)

暑熱対策分科会 ③ 実施内容（令和3年度）

【令和3年度 実施内容】

項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広域協議会			▲ 第6回広域協議会 (8/25)						▲ 第7回広域協議会 (2/9)	
分科会 (調査項目③)		▲ 第3回分科会 (7/21)					▲ 第4回分科会 (12/23)			
調査項目① 実施可能性のある適応オプションの検討		①実施可能性のある適応オプションの検討 (インターネット調査)		①実施可能性のある適応オプションの検討 (ヒアリング調査)						
調査項目② 限定ターゲットにおける適応アクションの策定	②限定ターゲットにおける適応アクションの策定 (アウトプットイメージ)		②限定ターゲットにおける適応アクションの策定		②限定ターゲットにおける適応アクションの策定 (取りまとめ)				→ 整理まとめ	
ヒアリング・意見照会		▲ 上野村#1 (8/4) ▲ 弘前大学教育学部付属学校園 (8/18)	▲ 豊島区#1 (9/14)	▲ 熊谷市 (10/6) → アンケート	▲ 上野村#2 (11/18) ▲ 豊島区#2 (11/29)				→ 分科会 メンバー 照会	

気候変動適応関東広域協議会（第7回）

4

災害対策分科会

気候変動適応関東広域協議会（第7回）

災害対策分科会 ① 事業概要

テーマ：地域特性に応じた減災としての適応

将来の大雨や暴風等のリスク増大による災害により孤立化が想定される地域を対象に、被災時のより安全・安心な避難生活（自立的な生活）を目指した体制を構築することを目的とした自助・共助の取組とともに、「防災もまちづくり」（公助）という視点で、広域的に実施できるようなアクションプランを策定する。特に、ライフラインの途絶による孤立を想定した備えについて、災害時の効果に加えて、平時における脱炭素型社会の実現（緩和策）とのシナジー効果をもたらす取組として推進する。

※R3年度では広域アクションプランの枠組みを検討し、モデル地域における妥当性の検討を行うため、アクションプラン（モデル地域版）を作成する。R4年度にて、普及版へ拡張する。

<アドバイザー> ※敬称略

東京大学 生産技術研究所教授
社会科学研究所特任教授 兼任
加藤 孝明
(都市計画、地域安全システム学)

<オブザーバー>

なし

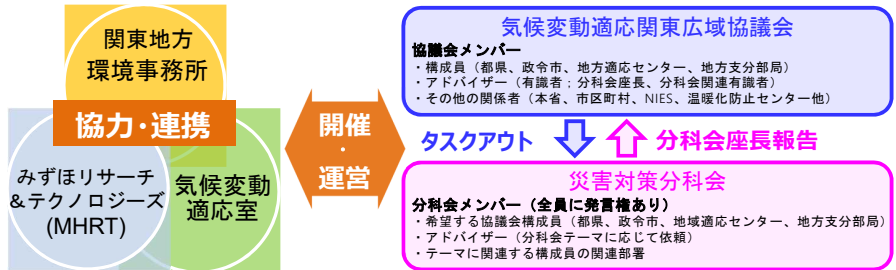
<推進体制>

災害対策分科会の推進体制は右のとおり。
気候変動適応室・関東地方環境事務所と緊密に連携し協力を図り、広域協議会および災害対策分科会を開催・運営する。
(現時点では、調査の協力機関の想定はない。)

<メンバー>

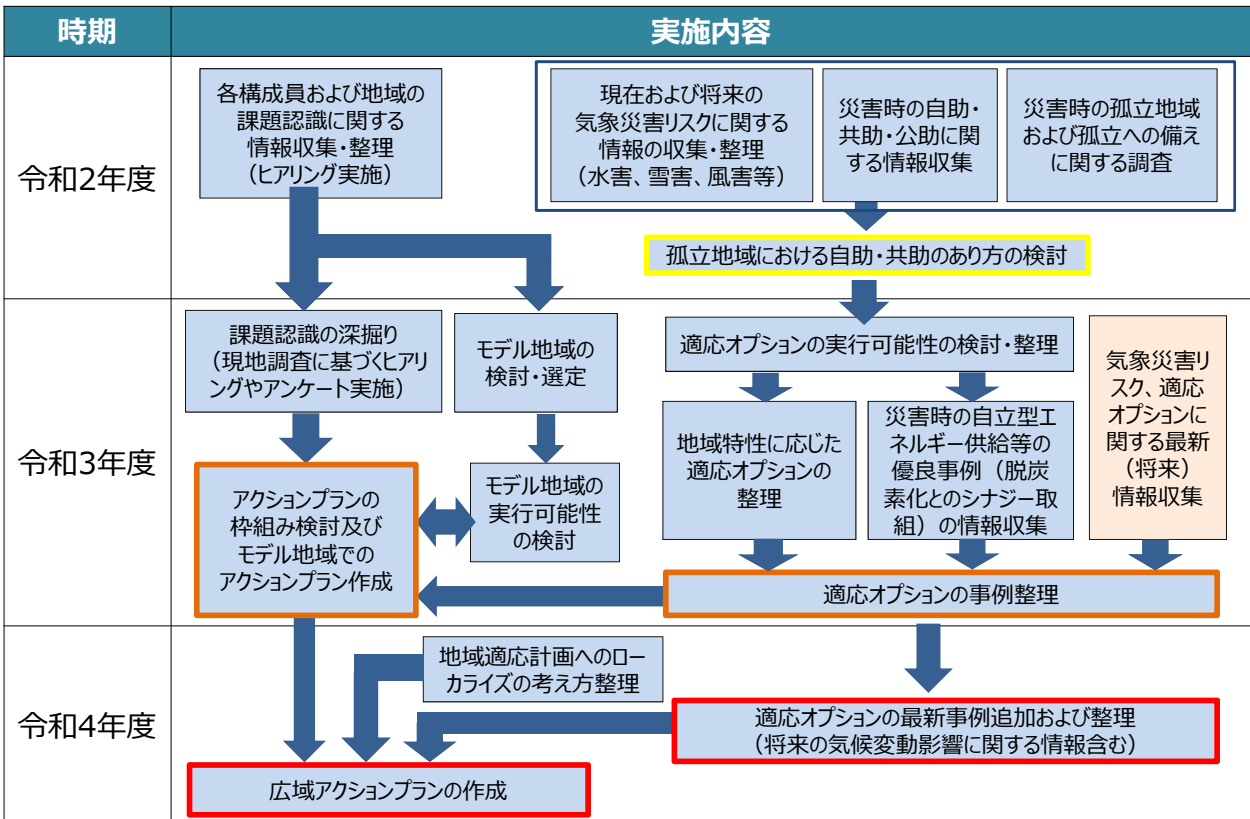
(2021/11/10現在)

種別	メンバー
地方公共団体	栃木県、群馬県、山梨県、相模原市
地域気候変動適応センター	茨城大学、埼玉県環境科学国際センター、川崎市環境総合研究所
地方支分部局	農林水産省 関東森林管理局、経済産業省 関東経済産業局、国土交通省 関東運輸局、国土交通省 中部運輸局、気象庁 東京管区気象台
企業 ほか	-



気候変動適応関東広域協議会（第7回）

災害対策分科会 ② 実施計画（令和2-4年度）



気候変動適応関東広域協議会（第7回）

災害対策分科会 ③ 実施内容（令和3年度）

【令和3年度 実施内容】

項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広域協議会			▲ 第6回広域協議会 (8/25)						▲ 第7回広域協議会 (2/9)	
分科会		▲ 第3回分科会 (7/21)					▲ 第4回分科会 (12/20)			
調査項目① 適応オプションの事例整理	適応オプションの情報収集・整理 (災害時のライフライン確保および平時の脱炭素化とのシナジー取組等の優良事例抽出)									
調査項目② アクションプランの枠組み検討 及びモデル地域でのアクション プラン作成	孤立地域における課題認識の深掘り モデル地域の検討・選定 モデル地域の実施 内容検討・選定 アクションプランの枠組み検討 アクションプラン試行版（モデル地域限定版）の作成									
ヒアリング・アンケート			▲ 上野村 (8/4)	▲ 横浜市 (9/30)	▲ 神流町 (10/12)	▲ いすみ市 (10/14)				
意見交換 (モデル地域と議論)						▲ 葛飾区 (11/29)			▲ 葛飾区 (2/2)	
						▲ 上野村 (11/26)			▲ 上野村 (2/8)	
						▲ いすみ市 (11/30)			▲ いすみ市 (2/1)	

気候変動適応関東広域協議会（第7回）

地域適応策検討分科会

地域適応策検討分科会 ① 事業概要

テーマ：地域の脆弱性の再整理を通じた市区町村等の適応

気候変動適応の取組において市区町村等の役割は大変重要であるが、**市区町村等において適応を推進するための情報が十分整理されていない**。このため、市区町村等における脆弱性やリスクについて意見交換会等で意見を収集し、広域的な取組が重要と思われる課題を抽出した上で、**市区町村等で適応を進めていく上での課題及びノウハウについて取りまとめる**。また、**市区町村等が実施できる適応策を収集し、事例集として取りまとめる**。

<アドバイザー> ※敬称略
法政大学 教授 田中 充（環境政策論）

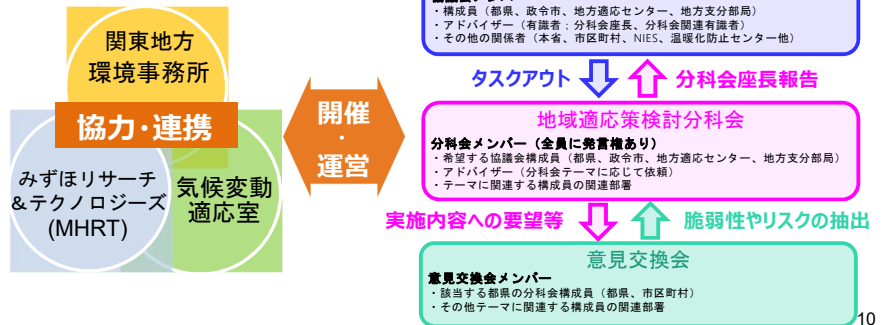
<メンバー> (2021/10/25現在)

種別	メンバー
地方公共団体	栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、横浜市
地域気候変動適応センター	栃木県環境森林部、埼玉県環境科学国際センター
地方支分部局	経済産業省 関東経済産業局、東京管区気象台
企業 ほか	-

<オブザーバー>
なし

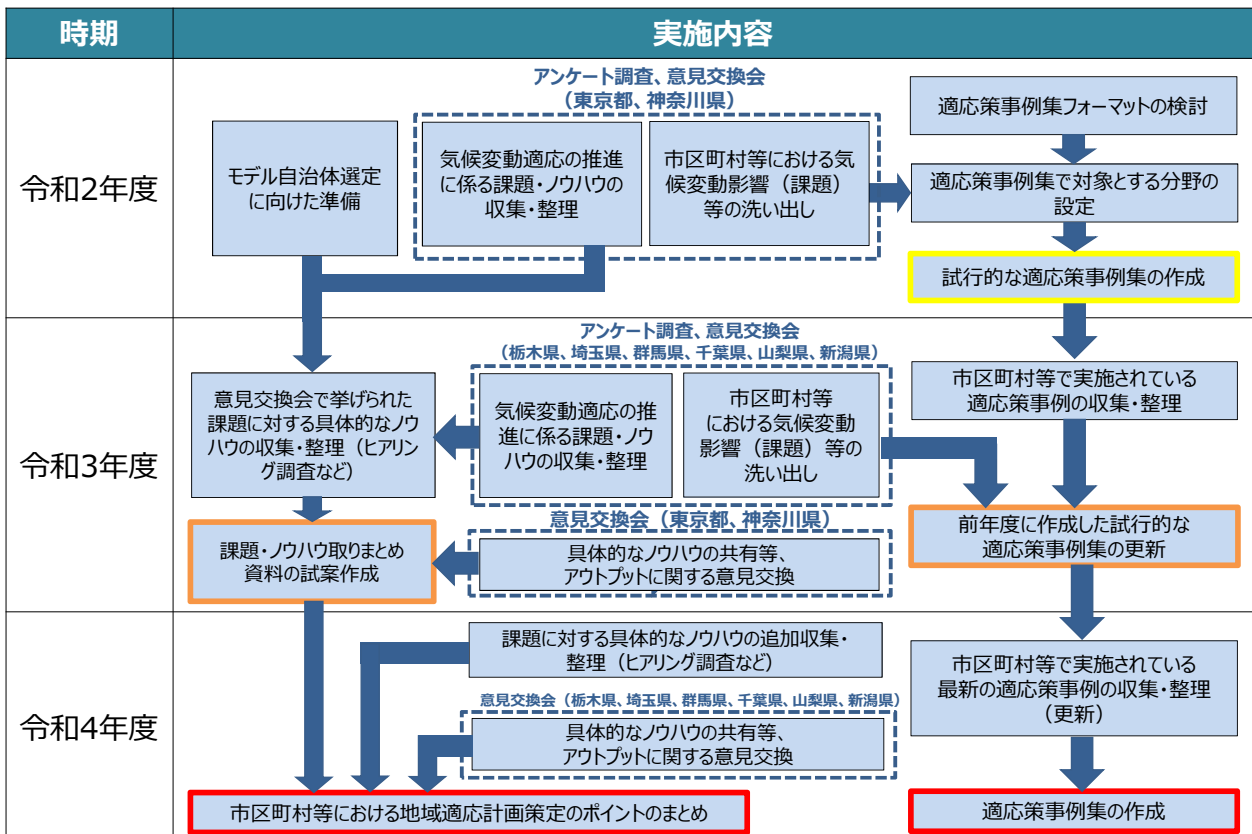
<実施体制>

地域適応策検討分科会の実施体制は右のとおり。
気候変動適応室・関東地方環境事務所と緊密に連携し協力を図り、広域協議会および地域適応策検討分科会を開催・運営する。
(現時点では、調査の協力機関の想定はない。)



気候変動適応関東広域協議会（第7回）

地域適応策検討分科会 ② 実施計画（令和2-4年度）



気候変動適応関東広域協議会（第7回）

地域適応策検討分科会 ③ 実施内容（令和3年度）

【令和3年度 実施内容】

項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広域協議会			▲ 第6回広域協議会 (8/25)						▲ 第7回広域協議会 (2/9)	
分科会		▲ 第3回分科会 (7/16)						▲ 第4回分科会 (1/7)		
調査項目① 適応策事例集に関する調査	<p>適応策事例集の収集事例集（試案）の作成およびブラッシュアップ</p>									
調査項目② 地域適応の課題及び具体的な実施ノウハウの取りまとめに向けた情報収集及び整理等		▲ 横須賀市、 茅ヶ崎市、 中野区		▲ ひたちなか市、 戸田市	▲ 北区、 寒川町				▲ 船橋市、 岸和田市	
		意見交換会を通じた情報収集		意見交換会を通じた情報収集		意見交換会を通じた情報収集				
		課題・ノウハウ集（試案）の作成およびブラッシュアップ								
意見交換会の開催		意見交換会（第1回） 栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、 東京都、神奈川県、山梨県		意見交換会（第2回） 栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、 東京都、神奈川県、新潟県、山梨県 ※新潟県は第1回						